

2018年度の活動方針

- 昨年度に引き続き「ひょうごコミュニティ財団」の着実な離陸を支援する（事業2-①）。
- これを最優先事項とする。
- 同時に、KEC との相互乗り入れを一層すすめ、相乗効果を図る。
- 休眠預金法の実現プロセスに、KECとしても政策提言してゆく。
- 今年度は常勤職員・非常勤職員（各1名）の採用を検討する。

1 . NPO 支援事業

①認定NPO 法人相談事業

広報に力を入れ充実を図る。昨年度に続き、NPO の事務力向上も視野に入れた支援を行う。

②相談・セミナー事業

個別コンサルティングを重視する。

同時に、個別（伴走）支援をできる中間支援組織のネットワーク形成を図る。これは休眠預金法も見越した動き。

③神戸元町NPO ポート事業

従来通り。

④その他のNPO 支援事業

1) 学び支援 (講師派遣) 事業

2) 神戸市アドバイザー派遣事業

その他を実施する。「学び支援 (講師派遣)」は極力限定する。

2 . NPO のための資源仲介事業

①ひょうごコミュニティ財団支援事業

2013 年6 月に設立されたひょうごコミュニティ財団への支援を引き続き行う。「方針」にある通り単なる支援ではなく共同の成果を追求する。

②その他の資源仲介事業

1) 「サンケイリビング」紙でのNPO 等の情報発信

2) 明治ホールディングス 等

3 . 調査研究、政策提言事業

①NPO やまちづくりに関する調査、政策提言事業

休眠預金法の動きへの政策提言に最も力を入れる。単に資金の配分ということではなく、神戸・兵庫のNPOのキャパシティ・ビルディングにも直結する話として本件を捉える。

4 . 災害支援事業

①被災地・避難者支援事業

福島への支援のほか、兵庫で「避難サポートひょうご」に参加する。